

医療現場: 看護部

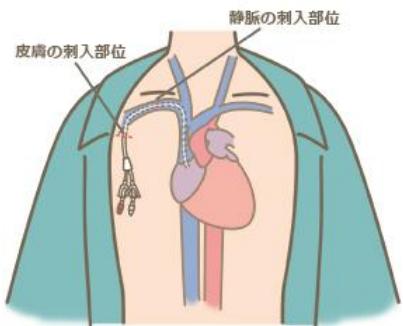
テーマ: CVポート埋込患者の入浴用防水テープ

■ 背景

CVポートは完全皮下埋め込み式ポート付きカテーテル(totally implantable central venous access port)の事で、中心静脈カテーテルの一種である。カテーテルの先端は上大静脈に挿入され、体外にはポートが出ており、ここを通じて高カロリー輸液による栄養管理や悪性腫瘍に対する抗がん薬の投与などが行われる。繰り返し投与が必要な場合や静脈確保が困難な場合に設置される。一般的にはCVポートは前胸部や上腕部に埋め込まれる。

実際には感染予防や針の固定を目的に滅菌フィルムドレッシング材を用いて針を覆い、さらに固定テープでルート部分をしっかりと固定している。

これは長期間に渡って使用できるため、病院だけでなく、自宅や老人保健施設などにおいても用いられる処置具である。患者にとっても、埋め込んだ部分が外から見えにくく、また日常の行動に制約が少ない利点もある。



<出典: 看護roo>

■ 課題と解決のアイデア例

入浴時は防水目的にポート針のドレッシングの上からエアウォールを貼っているのだが、市販されているエアウォールの粘着力が強いため、エアウォール取外し時にドレッシング剤が剥がれない様に慎重な操作が必要である。手間がかかる上に心理的ストレスがかかっている。

望まれるエアウォールの特性は、

- ①ポート針の固定力がある事
- ②ドレッシング剤を剥離させることなく、簡単に剥がすことが出来る事
- ③短時間で作業できる事
- ④市販製品より安価である事(現在は費用は患者負担となっている)

これが達成されると、患者の安全性確保と同時に看護師の業務時間の改善にもつながる。

なお、このような防水テープはCVポートだけでなく、末梢静脈留置針を付けた患者の防止目的に対しても適応可能である。

エアウォールで被覆部位



■ 市場性

入院患者の9.4%が中心静脈カテーテルを施術されている、1日当りの入院患者数が121万人(令和2年厚労省調査)であることを考慮すると、約11万人が対象となる。在宅患者や老人保健施設での施術もあるため、潜在的な対象者はより多くなる。その1~3%で感染症が発生しており、特に高齢者や幼児では感染症は重篤な症状をもたらす恐れがあるため、避けなければいけない。

■ 看護部のホームページ

<http://sumsnurse.es.shiga-med.ac.jp/>